

各位



大不況下の学習塾経営を考える(2)
教育経営品質研究会の御案内

開倫塾
塾長 林 明夫

謹啓

先生方におかれましては時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、教育経営品質研究会に御理解、御協力、御支援を賜りまして有難く感謝申し上げます。

さて、世界大恐慌に突入寸前とも思われるような経済状況が毎日のように報じられています。このような大不況の経済状況の下で、どのように「経営品質」を維持しながら学習塾の経営を考えたらよいかをテーマに、11月も教育経営品質研究会を下記の通り開催させていただきます。

御多用中とは存じますが、是非御参加の栄を賜りたくお願い申し上げます。

御参考までに、前回取り上げたテーマの一部を御報告申し上げます。今回も引き続き、各テーマを自由に議論し、この経済危機をどう乗り切るかを考えたく思います。

(1)大不況下の生徒募集をどうするのか。

前年と同じ担当者が同じような内容のDMやチラシを作って、果たして冬期講習の受講生や新年度の生徒が集まるのか。担当者を代え、DMやチラシで訴えるポイントを変えない限り、顧客とのコミュニケーションは促進されないのではないか。

校門前配布やポスティングをどう効果的に行ったらよいか。

(2)新年度のコース・カリキュラムをどうするのか。

この不況期、ヘビーで高額なコースはいつまでもつのか。

逆に、指導時間を短縮し、価格を下げて、果たして学力は身に付くのか。

単科受講を推し進めて経営は成り立つのか、学力は身に付くのか。

コンピュータや映像での代替は、どの学年まで可能か。

(3)月謝や納入金をどのように設定するのか。

値下げをして経営がどこまで維持できるのか。

全納制や分納制、振替日の前倒し変更を、どこまで推し進めたらよいか。

(4)急激に増加すると考えられる月謝や納入金の未納に、具体的にどのように対処するか。

振替不納が発生しないようにするための保護者への丁寧な説明や、未納が累積した場合の対処をどのように具体的にすすめるか。

請求や督促、法的手続の方法とは

(5)経費の大幅な削減をどう行うか。

不動産費の削減、家賃の値下げのお願いをどのようにすすめるのか。

不要な支出をどう発見し、削減するか。

人件費を少しでも固定費から流動費にするにはどうしたらよいか。

(6)前年同時期対比で生徒数や売上を減らしている不振校や不振コースの業績回復をどのようにすすめるのか。

何が問題なのか(問題の所在の発見)。

なぜはやらないのか(原因の推定)。

問題解決のためにとりあえずどうするのか。中・長期的にしくみをどう変更したらよいか。

校長が代われば、校舎は変わるのか。教務担当者が代われば、コースの内容はよくなるのか。

そうであるならば、誰を校長にすればよいのか。誰をコースの責任者にしたらよいのか。そのような人材は、我が塾・予備校・学校にいるのか。どう人材を育成したらよいのか。塾名、校舎名、コース名、カリキュラム、教材、指導方法などの変更を、どう全面的にすすめるか。

- (7) どうしても業績回復の見込めない校舎やコースのスクラップをどのように行ったらよいのか。
2～3校舎を1校舎にどうまとめるか。
校舎のリロケーションをどうすすめるか。
何年計画で校舎を閉じれば、塾生へのご迷惑を最小限に止められるか。
- (8) 組織としての労働生産性をどう上げるか。
能力別クラス分けをしながらも、クラス平均人数をどう上げるか。
中学生から集めたのでは、クラスが成り立たない。小学生からどう集客したらよいのか。
塾のブランドイメージをどうつくりあげたらよいのか。
- (9) 講師の稼働計画をどう組んだらよいのか。
すべてのクラスに、生徒は本当に存在するのか。極端に生徒数の少ないクラスは本当に存在しないのか。
労働力口数は本当にないのか。
誰がどのように、全校舎、全クラスの稼働計画を組めばよいのか。
稼働計画の年度内変更はどのくらいの頻度で、いつ、どのように、誰が行うべきか。
耳に痛い情報、悪い情報をどのように入手したらよいのか。
内部通報制度をどう導入するか。受取人を誰にするのか。
- (10) 金融機関とどのようにコミュニケーションを取ったらよいのか。
株式公開会社、上場会社が投資家にするような IR 活動を、未上場会社が金融機関にどう行ったらよいか。
四半期決算を未上場会社がどう行うか。
- (11) その他、経済危機を乗り切る具体的対応策は何か。
MandA(企業買収)をどうすすめるか。
事業承継をどうすすめるか。
内部留保をどう充実させるか。
自己資本比率をたえず 30%以上にどう高めるか。
赤字月をどう撲滅するか。
この経済危機を発展のチャンスにするポイントは何か。

謹白

- 記 -

- ・日 時：2008年11月12日(水) 午後1:00～17:00
- ・場 所：「同友倶楽部(クラブ)」会議室(パレスサイドビル〔毎日新聞社本社ビル〕東3F)
 - * 住 所：東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
 - * アクセス：地下鉄東西線「竹橋駅」下車(竹橋駅直結)
(中野寄り階段「竹橋方面出口」(1b出口)をご利用下さい。)
- ・テーマ：「大不況下の学習塾経営を考える(2)」 前回の1～11のテーマを更に議論します。
- ・参加費：一人5,000円(当日御持参下さい)
- ・申込み：一塾何名でも可。自塾で即実行するために、できるだけ複数で御参加下さい。
2008年11月11日(火)までに、FAXで開倫塾 林明夫までお申し込み下さい。

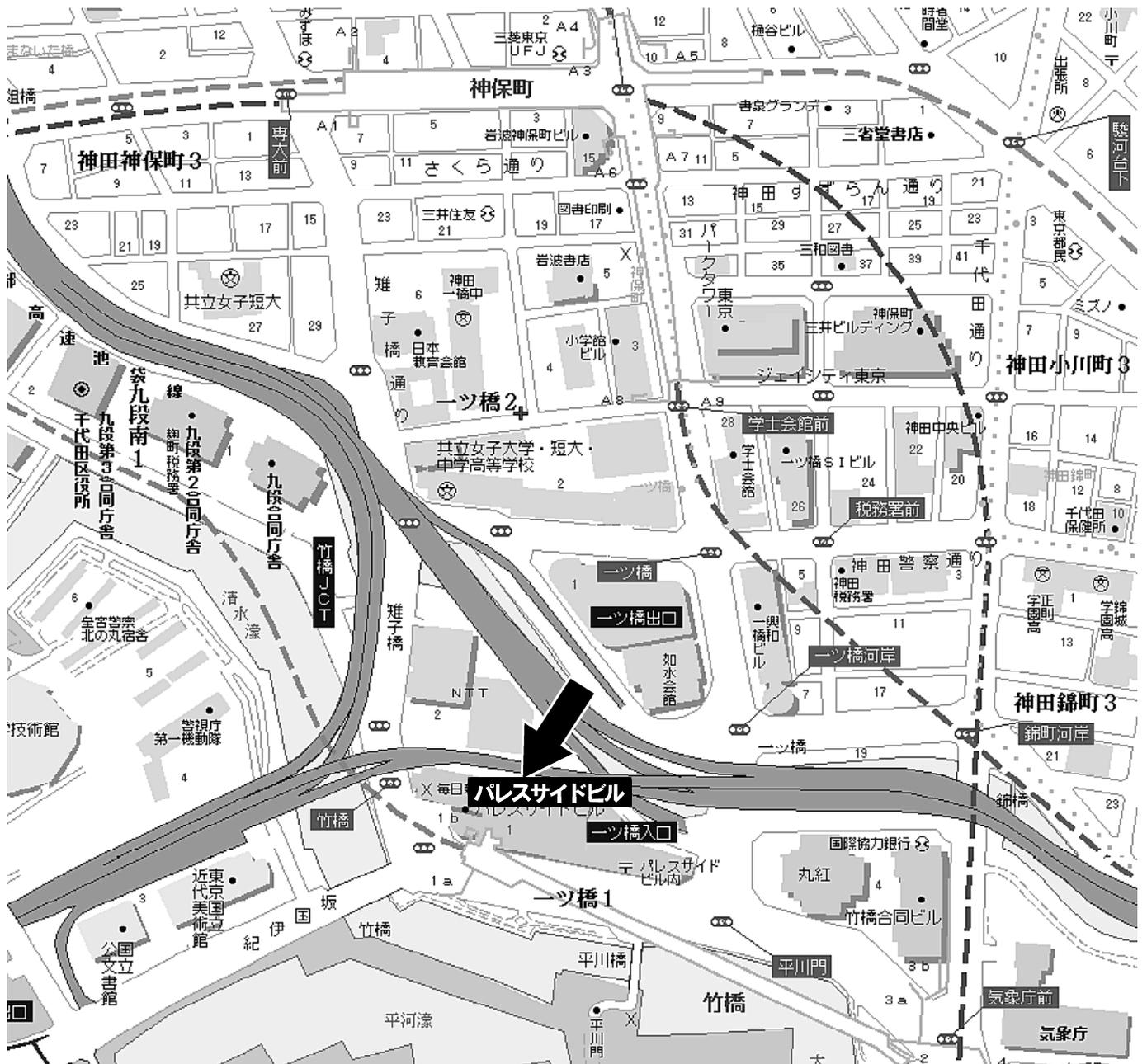
< お問い合わせ先 >

〒326-8505 栃木県足利市堀込町 145 開倫塾（塾長室）

TEL 0284-72-5945

FAX 0284-73-1520

< 会場地図 >



教育経営品質研究会2008年度第3回会合(11月12日)申込書

申込日	2008年 月 日
御氏名	
御団体名	
御役職名	
御住所	〒
TEL	
FAX	
e-mail	

開倫塾 塾長 林明夫行
FAX 0284-73-1520

お問い合わせ先 〒 326-8505 栃木県足利市堀込町 145 開倫塾（塾長室） TEL 0284-72-5945 FAX 0284-73-1520
--

* 1つの団体で何名でもお申し込み下さい。

複数名でのお申し込みの場合は、お手数とは存じますが、この申し込み用紙をコピーし、1名ずつ FAX してお申し込み下さい。

＝ 皆様の御参加をお待ち申し上げます ＝